

議事録

件名	第19回久留米市セーフコミュニティ推進協議会
日程	令和2年8月7日(金)～8月28日(金)【書面決議】
参加者	別紙参加者名簿
次第	<p>1. 協議事項</p> <p>(1) 2019年度(令和元年度)実績について</p> <p>①各対策委員会の取り組み実績</p> <p>②その他の取り組み実績</p> <p>(2) 2020年度(令和2年度)取り組み方針(案)について</p> <p>①具体的施策の見直し</p> <p>②各対策委員会の取り組み方針</p> <p>③その他の取り組み等</p> <p>(3) セーフコミュニティ実態調査について</p> <p>(4) セーフコミュニティ活動推進事業所登録制度(仮称)について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 日本版セーフコミュニティ認証について</p>
協議結果	<p>協議事項(1) 賛成多数により承認</p> <p>協議事項(2) 賛成多数により承認</p> <p>協議事項(3) 賛成多数により承認</p> <p>協議事項(4) 賛成多数により承認</p>
質疑・意見	<p>《協議事項(1)》</p> <p>[交通安全]</p> <p>委員 事務局 ・交通事故発生件数は減っているが、高齢者の事故は増加し、対策が必要。 高齢者向け交通安全講習の受講機会の拡大や、高齢者の運転免許証の自主返納の促進など、高齢者の事故防止対策に努めていきます。</p> <p>[児童虐待防止]</p> <p>委員 事務局 ・P3アの児童数の推移は？ ・誰からの虐待が多いのか。 ここでの児童とは、18歳以下であり、児童数は減少傾向にあります。また、虐待の約9割が実母または実父によるものです。</p> <p>[学校安全]</p> <p>委員 事務局 ・P5けがの発生件数の対象、人数の推移、割合は？ 対象は小学校1年生～6年生で、全生徒のけがの発生割合は10%前後で推移していましたが、令和元年度は8%となり、平成23年度以降最小の発生割合となっています。</p> <p>[高齢者の安全]</p> <p>委員 事務局 ・高齢者虐待防止の取組について、要因等を幅広く周知することで早期発見につながるのでは。 被虐待者の60%に認知症の症状がある、虐待の多くが同居親族によるものであ</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>る、関係機関に比べ近隣住民など身近な人からの通報が少ない、などの現状を踏まえ、認知症の人や家族を地域で見守る認知症サポーターの養成講座や、広く市民を対象とした高齢者虐待に関する基礎知識や現状についての理解を深める講座を開催するなど、虐待防止に向けた啓発に取り組んでいます。</p> <p>[自殺対策]</p> <p>・中高年者の自殺の要因を明確にできる方法があれば、その改善策につながるのでは。</p> <p>中高年に関わらず、その人の生活背景や環境が大きく影響し、自殺の要因は様々です。今後も、自殺の原因・動機をはじめ、自殺の現状を細かく分析し、取り組みにつなげていきたいと考えております。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>《協議事項（2）》</p> <p>[具体的施策の見直し]</p> <p>・取組の統合は望ましい。統合結果については、複数の組織にまたがっているものもあると思われるため、関係組織間での調整、周知を徹底すると思う。</p> <p>安全安心を目指す活動は、様々な組織が取り組んでいます。セーフコミュニティは、そうした組織間の連携を図りながら、それぞれの力を結集したまちづくりを進める仕組みです。これからも関係組織の調整を十分に図りたいと考えています。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>[児童虐待防止]</p> <p>・保護者向けの教育を実施してはどうか。</p> <p>地域での相談環境の整備や、児童虐待防止の講演会などを通して、保護者が子どもへの理解を深める取組を進めています。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>[学校安全]</p> <p>・各学校の通学路に防犯カメラの設置を義務化してはどうか。</p> <p>久留米市では、地域コミュニティ組織や、学校・PTAと連携しながら、通学路など地域の危険個所への防犯カメラの設置を進めています。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>・学校毎にいじめアンケート箱を設置して毎日確認してはどうか。</p> <p>いじめアンケート箱は全小学校に設置しており、定期的に確認を行うようにしています。アンケートの投函が確認された場合は、児童のプライバシーや安全面に配慮しつつ、個別に対応するよう努めています。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>・子どもたちの登下校の交通安全対策として歩道の確保が重要。歩道の幅の狭い道は、車道と歩道をはっきり白線で引き、色分けすることが、子どもの命を守るために大事だと思う。歩道の点検を課題に入れてほしい。</p> <p>歩道の改善は、経費と時間を要する課題であり、迅速な改善はなかなか難しいのですが、学校安全対策委員会では、歩道の安全性も課題のひとつとして、通学路の安全点検を行っています。</p>

委員	<p>[防犯]</p> <p>・防犯マップを参考に青パトでパトロールができるよう、地域の犯罪等の発生を月毎マップにしてはどうか。</p>
事務局	<p>各学校が行った通学路の安全点検の結果や、警察が発信する不審者情報等を地域に情報提供する予定ですので、各地域での防犯活動やマップの整備に活用していただきたいと考えています。</p>
委員	<p>・自動車の任意保険には、保険の対象外となる免責があるが、地域のために青パト活動しているボランティアの方々に、責任がいくことがないような改正を望む。</p>
事務局	<p>自動車の任意保険には、保険の対象外となるケースとして、「故意による損害」や「競技、曲技中の損害」等が定められていることがあります。保険会社に確認したところ、保険金詐欺等を防ぐためにも必要な規約とのことでした。日常的な運転は、保険の対象となりますので、基本的にパトロール中に起きた損害が、個人に責任になることはありません。</p>
委員	<p>・暴追活動においては、役員だけでなく、市民の暴追認識、理解、協力が重要である。その対策を。</p>
事務局	<p>暴力のない安全で平穏な市民の生活を守るためには、暴力追放推進協議会だけでなく、関係団体や事業者、市民の皆様など、多くの皆様のご理解とご協力が不可欠であると考えており、しっかりと情報を共有しながら、広く連携した暴追・暴排活動を展開していきます。</p>
委員	<p>[自殺予防]</p> <p>・人に知られず相談できる環境を作ってはどうか。</p>
事務局	<p>相談しやすい環境の充実は重要であり、プライバシーへの配慮は不可欠だと考えています。相談窓口ではプライバシーを確保しつつ、誰もが相談しやすい環境を心がけていきます。</p>
委員	<p>・スマホ・ゲーム依存についても取り上げる必要があるのでは。</p>
事務局	<p>久留米市では、自殺予防の一環として各種依存症の普及啓発や、依存症者やその家族が孤立しない地域づくりを進めています。今後も関係団体と連携しながら取組を進めていきます。</p>
委員	<p>[防災]</p> <p>・地域防災力の向上のためには、災害ボランティアを募る仕組みが重要だと思う。ボランティア活動により、被災地の一日でも早い復興に繋がるとともに、災害の恐ろしさを肌で感じることで日ごろの備えにつながる。また、被災した際にもこの経験が役に立つと思う。</p>
事務局	<p>久留米市では、災害が発生した際、災害の状況や被災地のニーズを把握し、ボランティアが必要な場合に、久留米市社会福祉協議会にてボランティアを募集し、支援活動を実施しています。市内の迅速な災害支援活動を可能にするために、災害ボランティア希望者を事前登録しています。今後も、関係団体と連携し、ボランティア意識の啓発に努めます。</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品の安全も脅かされている。一考を。 <p>食品の安全は、久留米市でも、福岡県が定めた条例に基づいた取組を進めている重要な課題ですが、久留米市が通常に収集し得るデータに基づいた予防と成果評価を行うというセーフコミュニティの仕組みには、馴染みにくいのではないかと考えています。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>《協議事項（3）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査内容について、各部会に意見も求めてはどうか。 <p>調査内容の詳細については、各対策委員会のご意見を伺いながら決定したいと考えています。</p>
<p>委員 委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分野によっては3年に1度も考えて欲しい。 ・ 調査項目①～④とあるが、内容によっては、他の方法で現状課題に対する評価、行動に移行すべきものは無いのか、把握する必要があるのではないかと思う。 <p>提案している実態調査は、5年に1度の再認証を受ける際に必要となる「久留米市の現状の確認」を主な目的としたものであり、再認証のサイクルに合わせて5年に1度の実施とします。セーフコミュニティの取組の中には、もう少し高い頻度で調査をおこなうことが望ましいものもあると思いますが、これについては、市民意識調査や、各課が行う調査を活用することも想定しながら、調査の実施手法等を各対策委員会で協議していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>《協議事項（4）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セーフコミュニティを理解してもらうため、多くの市民への周知啓発を図るためにも良い制度と思う。
<p>委員 事務局 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所だけでなく、団体（組織）も対象にできないか。 <p>事業所に限らず、団体等も対象とする予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制度の設置により、多くの市民がSC活動に参加することは、安心・安全のまちづくり取組に好ましい。但し、取組が複雑化しないように、地域や既存組織との連携や調整に配慮すべき。
<p>事務局</p>	<p>事業所の方々が、「けがや事故を予防する」というSCの考え方を理解して活動に取り組んでいただくこと、その考え方が市民の皆様にも浸透していくことを期待しています。そのために制度の周知に取り組んでいくとともに、地域や既存組織のSC活動の周知にもしっかりと取り組みながら、SC活動の連携を図っていきたいと考えています。</p>

<p>委員</p>	<p>《その他》</p> <p>・安心安全なまちづくり＝セーフコミュニティ＝支え合うまちづくり⇒支え合い推進会議の取組と連動していると思うが、その体系が住民にもわかりやすく示す方法があるといいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>セーフコミュニティの国際認証は、安全安心のまちづくりの協働の仕組みも評価対象のひとつであり、ご指摘のとおり、市民への周知啓発は、「協働」を理解していただくことが大切です。広報紙やホームページ、セーフコミュニティ通信などでの啓発の際には、「協働」の視点を忘れないようにしていきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>・障害を持つ者に対する、安心安全についての対応をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>災害時の障害者への対応については、防災対策委員会で取り組んでいます。セーフコミュニティは、コミュニティの安全安心に関する現状を見極めながら、取組項目の見直しを行っていくものです。障害者の日常の安全に関することについても、安全安心に関する他の分野と同様、セーフコミュニティの取組項目と位置付けるかどうかの検討課題の一つであり、今後も現状把握に努めていきます。</p>
<p>委員</p>	<p>・セーフコミュニティ推進自治体の中で、再認証を取得しない自治体がいくつか出ているが、何が理由なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>自治体によって種々の理由があるようですが、再取得にかかる経費の負担軽減も理由のひとつと聞いています。</p>
<p>委員</p>	<p>・公私に関わらず、多くの取り組みがあり、どれもすばらしいと思う。あとはこの活動の点を、住民まで浸透させ、面にできるかが、重要だと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>セーフコミュニティを継続していくには、多くの住民の理解が重要です。今回、提案した事業所登録制度もその一環ですが、この他にも、セーフコミュニティ通信やHP、各種のイベントなどを通じての周知啓発に取り組んでいきます。</p>

第19回久留米市セーフコミュニティ推進協議会 参加者名簿

		(敬称略・順不同)
	団体名	氏名
会長	久留米市	大久保 勉
副会長	久留米市	中島 年隆
委員	一般社団法人久留米市交通安全協会	村井 正隆
委員	浮羽地区交通安全協会	石井 勝則
委員	小郡三井地区交通安全協会	光安 勝憲
委員	城島三潁交通安全協会	宮下 高次郎
委員	久留米安全運転管理連絡協議会	永渕 俊毅
委員	久留米商工会議所	本村 康人
委員	久留米南部商工会	秋吉 久美子
委員	久留米東部商工会	古賀 幹子
委員	田主丸町商工会	小林 整子
委員	久留米市農業協同組合	甲斐 サエ子
委員	にじ農業協同組合	馬渡 恵美子
委員	みい農業協同組合	赤司 久美
委員	三潁町農業協同組合	田中 ヤク子
委員	福岡大城農業協同組合	千代島 和代
委員	公益財団法人久留米市体育協会	佐藤 光義
委員	久留米市私立幼稚園協会	丸山 景子
委員	一般社団法人久留米市保育協会	菊池 良明
委員	久留米市小学校長会	塚本 秀二
委員	久留米市中学校長会	田中 佳幸
委員	久留米市小・中学校PTA連合協議会	三角 敦子
委員	久留米市学童保育所連合会	澁田 由見子
委員	久留米市青少年育成市民会議	吉住 英男
委員	久留米保護区保護司会	石橋 力
委員	久留米市老人クラブ連合会	鶴長 サユミ
委員	特定非営利活動法人くるめ地域支援センター	木下 香織
委員	久留米市身体障害者福祉協会	永野 清
委員	特定非営利活動法人久留米市障害支援運営委員会	古賀 勝子
委員	久留米市女性の会連絡協議会	江上 昭子
委員	久留米市田主丸町地域婦人会連絡協議会	横溝 敏子
委員	久留米市北野女性の会	鐘ヶ江 一枝
委員	城島女性ネットワーク	中島 恵美
委員	久留米男女共同参画推進ネットワーク	近藤 詳子
委員	久留米市民生委員児童委員協議会	綾部 章子
委員	社会福祉法人久留米市社会福祉協議会	内川 裕子
委員	久留米市校区社会福祉協議会連合会	熊本 孝晴
委員	一般社団法人久留米医師会	田中 二三郎
委員	一般社団法人浮羽医師会	宮崎 正樹
委員	一般社法人大川三潁医師会	池田 悟
委員	公益財団法人久留米市生きがい健康づくり財団	吉田 茂
委員	久留米大学	石竹 達也
委員	聖マリア学院大学	日高 艶子
委員	久留米市ボランティア連絡協議会	山村 秀敏
委員	久留米市校区まちづくり連絡協議会	石橋 良光
委員	久留米市防犯協会連合会	大石 淳
委員	うきは防犯協会田主丸支部	生野 寛
委員	特定非営利活動法人日本防災士会久留米支部	田島 スマ子
委員	久留米警察署	深野 浩
委員	うきは警察署	清末 佳之
委員	久留米広域消防本部	秋吉 弘章
委員	久留米市消防団	水田 信行
委員	久留米労働基準監督署	内田 トヨ子
委員	久留米児童相談所	待鳥 ヒロ子
委員	久留米市教育委員会	井上 謙介